



## 大学入試改革の先進的取り組み「アサーティブプログラム・入試」 育成型入試プログラムを沖縄県でも展開へ

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、大学入試改革の先進的事例として全国的に注目を集めている「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」という育成型の入試プログラムを、本年度から沖縄県でも展開します。5月20日(土)は沖縄県内の関係者を対象に、本取り組みと追手門学院大学の教育改革について説明を行います。沖縄県の大学・短大進学率は39.2%(平成28年度学校基本調査)と全国で最も低く、本プログラム・入試を普及させることを通じて進学率の向上にも寄与できるものと考えています。

「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」は学力試験による選抜型から育成型への転換をコンセプトに2014年度より取り組みを進めているもので、文部科学省の「平成26年度大学教育再生加速プログラム」の入試改革の分野において私立大学では唯一採択を受けました。「アサーティブ」のねらいは、出願のプロセスに入る前の高校1~3年生に「なぜ大学に進学するのか」「何を学び、どのような将来を描くのか」など、大学での学びに対する期待や意欲を育み受験を促すことで、ミスマッチを防ぎ入学後も能動的な学生生活を送ってもらおうというものです。

このうち「アサーティブプログラム」は、①本学職員との個別面談、②本学独自開発のe-learningシステムの「MANABOSS」、③自己の成長を記録する「アサーティブノート」で構成しています。また、「アサーティブプログラム」受講者を対象に実施する「アサーティブ入試」は、受験生同士のディスカッション、面接、基礎学力で合否判定を行います。一連のプログラムと入試は、本学全職員の約半数にあたる50名体制で運用していることも特徴です。

スタートした2014年度以降、アサーティブプログラム・アサーティブ入試での入学者は52名(2015年4月入学者)、128名(2016年4月入学者)、190名(2017年4月入学者)と順調に推移し、26都道府県の高校生へと広がっています。本年度は沖縄県でも講演会を開催していきます。

### 【ポイント】

- 育成型入試プログラム「アサーティブプログラム・アサーティブ入試」を沖縄県でも展開。
- 育成型入試プログラムで進学意欲を高め、沖縄県内の大学・短大進学率への寄与を目指す。
- 5月18日は糸満高校、5月19日は知念高校にて、アサーティブ講演会を実施。



高校生と職員による個別面談(イメージ)

記

### 【追手門学院大学およびアサーティブ入試プログラム関係者説明会・交流会】

日時：2017年5月20日(土) 20時から

会場：食彩健美 野の葡萄 沖縄 CARGOES 店(那覇市安里 2-1-1 ダイワロイネットホテル 那覇国際通り 1F)

出席者：福島一政(追手門学院大学副学長)

沖縄県出身の追手門学院大学生、沖縄県内在住の追手門学院卒業生等

この資料の配付先：沖縄県政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL: 072-641-9590 谷ノ内・足立